

もう、
「政治家は
デジタルに弱い」
なんて
言わせません。

デジタルの力で
日本を再生！

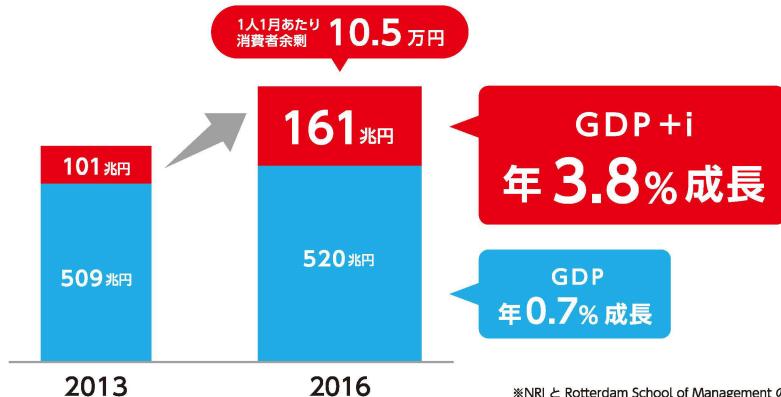
衆議院議員

小倉まさのぶ
デジタル推進政策集



デジタルの 便利さと豊かさを、 すべての方に お届けするために。

デジタルがもたらす恩恵(GDP+i)は年々成長している



*NRI と Rotterdam School of Management の
共同研究(2018年)より



政治家はデジタルに弱い。

そんな声がよく聞かれます。だからこそ、私は思います。

未来の舵をとる政治家こそ、最先端のデジタル知識を身につけ、
可能性を感じながら、その活用を率先すべきだ、と。

今、私たちの生活にデジタルは欠かせません。

デジタルの大きなメリットは、

必要な支援を、必要な人に、必要なタイミングで行えること。

それも、早く、確実に、低コストで、です。

その上、生活の質も向上させ、毎日を豊かにもしてくれます。

いつでも気軽に無料で動画が楽しめる。

SNSでいつでも友達とコミュニケーションがとれる。

世界中のほしいものを自宅にいながら注文できる。

各種手続きや予約サービスを、移動しながら処理できる…。

これらはすべてデジタルがもたらす恩恵です。

この豊かさ・恩恵を「i」とし、GDPに変わる新指標「GDP + i」で表すと、

約161兆円と言われています。

これからは、GDPだけでなくGDP + iを大きくする政策を。

そして、デジタルの便利さと豊かさを、

高齢者をはじめデジタルに詳しくない方にも

しっかりとお届けするために。

デジタルに関する私の活動をお話します。

衆議院議員、小倉 將信

ご高齢者の皆さんへ

必要な医療支援を確実・迅速にお届けするために。

コストや手間を増やす実現できるのがデジタルの強みです。

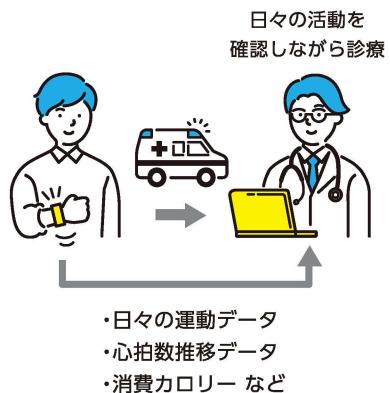


◆ テクノロジーで必要な医療を確実に

生活習慣病をはじめとした個人の医療データを長期的に分析することで、適切な治療や投薬が可能に。医療の効率化と医療費の抑制を実現しながら、より確実な医療サービスの提供を目指します。

コレカラノ ミライ

日々の健康状態をスマートフォンに登録し医療機関と共有。長期的な変化を把握し、通院診療だけでは見過ごされるかもしれない病気を早期に発見できるように。



◆ 介護ロボットなどで介護負担を軽減

介護ロボットやICTセンサーの活用で介護者の負担を軽減。介護事業所の人手不足も解消しながら、そのぶん利用者に温かい、ゆとりある時間をもてる体制を作ります。

コレカラノ ミライ

高価な介護ロボットの現場導入を支援。入浴など身体的負担が大きな作業を介助して、負担が重い現状を改善。



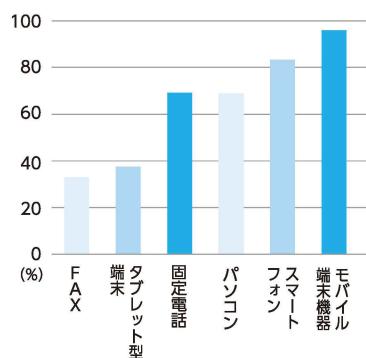
◆ デジタル機器の使い方をレクチャー

ITリテラシー不足の高齢者が詐欺被害に会うケースが増えています。そこで、スマートフォン操作をはじめとする「使い方教室」を携帯ショップで開催。ITリテラシーを育み、積極的にデジタルを活用いただけるよう支援します。

コレカラノ ミライ

ITリテラシーを高めることで、各種電子手続きはもちろん、SNSで子どもやお孫さんと楽しく交流したり、見守りツールを使いこなしたりと、様々な活用が期待できます。

世帯別端末保有状況(2019年時点)



※総務省令和2年情報通信白書より

学生・若者・子育て世代の皆さんへ

きめ細かなサービスが、人生の可能性を広げる。
デジタルであなたらしい生き方をサポートします。



◆ 学ぶ意欲にあふれた元気な教室を実現

子どもたちに1人1台端末を配布し授業を行うGIGAスクール構想では、個別最適化された学びを実現します。先生は学ぶ意欲を引き出すコーチとして、元気で向学心あふれる学習環境をつくります。

GIGAスクール構想：全国の児童・生徒1人に1台のコンピューターと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組み。

コレカラノ ミライ

例えば社会科の授業で、環境に配慮した観光施設を立案し、デジタル機器を用いながらその費用対効果をプレゼンテーション。個人のアイデアを尊重して「出る杭を伸ばす」社会に。

全国自治体における小中学校への
端末普及率(令和3年3月時点)



※文部科学省HPより

◆ AI、データサイエンス、数理教育を強化

令和の「読み、書き、そろばん」であるAI、データサイエンス、数理教育に力を入れた教育を推進。デジタルネイティブ世代のITリテラシーを国際水準に高めます。

デジタルネイティブ：学生時代からインターネットやパソコンのある生活環境で育ってきた世代

コレカラノ ミライ

体育の授業で走る速さを競うだけでなく、「より早く走るために走り方」をデータとして採集・分析。体の構造を理解しながらITリテラシーを高めていく。

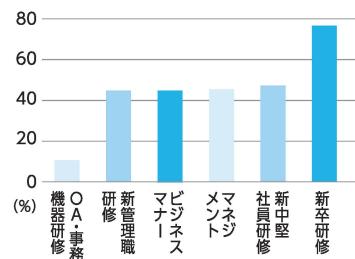
◆ 学校卒業後も学び続けられる機会を

学生の時に学びきれず、社会人になって必要になった知識を学び直す機会を推奨(リカレント教育)。データ駆動型社会で何歳になっても活躍できる人材を育てます。

コレカラノ ミライ

生涯雇用が危ぶまれる中、実務経験を経て大学院に進学することで、新たな視点の獲得とキャリアアップのきっかけに。

リカレント教育で学びたいこと



※厚生労働省能力開発基本調査より

◆ 女性がもっと働きやすい環境を

フェムテックを活用し、働く女性の妊娠、出産・更年期障害等ライフイベントに起因する離職などを防ぐことで、女性が活躍できる社会を目指します。

フェムテック：Female(女性)とTechnology(技術)の造語。女性の健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービス。

コレカラノ ミライ

育児相談やパートナーとの意思疎通をアプリなどを通じて気軽にを行うことで、子育て負担を分散。

困難に直面している方へ

本当に困っている人は誰か、どこにいるのか。
困っている声を聞き逃さないための施策を行います。



◆ 生活状況に合わせた適正な支援を

生活保護の不正受給が話題になる一方で、本当に生活が苦しい人に十分に行き届いていないという不平等が生じています。困窮者の生活状況をデータで把握することができれば、生活を守るために必要な額の支援を適切なタイミングで行うことができます。

コレカラノ
ミライ

一人ひとりの収入状況を、行政が一元的に把握。生活保護の不正受給をなくしながら、必要な人に迅速な支援を。

▶ 生活保護者数

2,039,038人
↑
人口100人
当たり 1.63%

▶ 生活保護世帯数

1,639,469世帯

※令和3年6月/政府統計の総合窓口(e-Stat)より

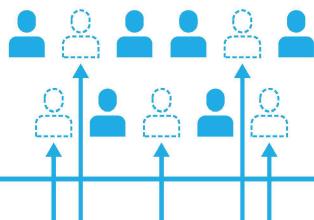
◆ 黙っていても保護を受けられるように

今の日本は生活に困っていることを自ら伝えないと補助が支給されない「申請制」。制度を知らない人や申請自体にためらいを感じるような方にも適正に支給されるよう、デジタル配信によって国の方から手を差し伸べる「プッシュ型の支援」を実施します。

コレカラノ
ミライ

生活困窮者に該当する方へ、メールなどで支援策をご案内。申請はマイナンバーカードを用いて、オンライン上で気軽に行えるように。

生活保護を必要とする人



生活保護を
申請していない人にも
プッシュ型の支援を

◆ ネット上の誹謗中傷をなくすために

自民党のネット上の誹謗中傷対策等小委員会の副委員長として、デジタル社会の負の側面である誹謗中傷対策を厳格化。匿名を背景とした理不尽な攻撃に断固反対します。

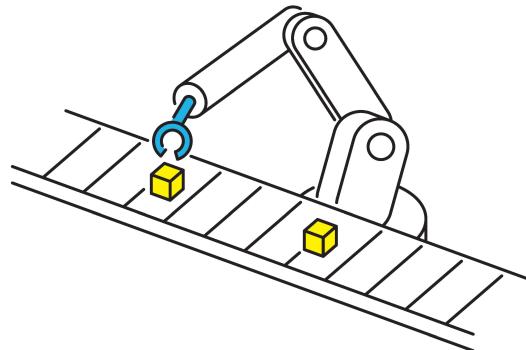
中小・小規模事業者の皆さんへ

人口減少社会の中でより強い日本経済を。
自動化と効率化で収益向上と働き方改革を推進します。



◆ デジタルで生産性と働き方を向上

地域の経済を支える要である日本の中小・小規模事業者。その生産性と業務効率を高めるために、クラウド会計やキャッシュレス決済を進め、経営の合理化をはかります。また作業ロボットや業務自動化支援(RPAなど)を導入して、就労人口の不足を補いながら作業効率を向上。働き方改革も合わせて推進します。



RPA (Robotic Process Automation)：
人がコンピューターで行う定型作業を、ロボットで自動化すること

コレカラノ
ミライ

キャッシュレス決済が可能なコンビニの無人店舗などを地方都市にこそ普及させ、働き手が限られる地域でも安定した業務が実現できるように。

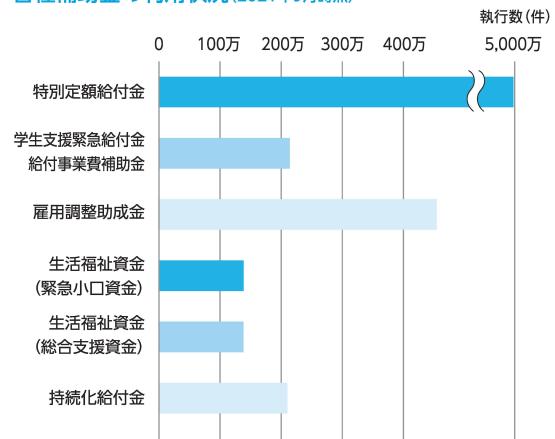
◆ 緊急時における迅速かつ 適切な経営支援

コロナ禍で見られたような、困難に直面した企業や店舗への不平等な一律支援ではなく、日頃から業績などをデータで把握することで、緊急時に、きめ細かく適切な支援ができる体制を整えます。

コレカラノ
ミライ

各企業の売上高や店舗数などをデジタルで吸い上げ、補助金給付額を計算・決定することで、過少給付や過大給付が再び起こらないように。

コロナにおける
各種補助金の利用状況(2021年9月時点)



※内閣府資料より作成

命と安全を守るために

災害被害を最小限に、復興を迅速に。
万が一の防災にデジタルの力は欠かせません。



◆ 防災・減災に、一秒でも早い避難を

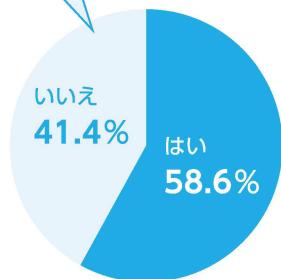
地震や津波、洪水など災害が起こった時の緊急速報、その後の安否確認や情報収集にデジタルを活用。平時においても被害予測をシミュレーションするなど、「一秒でも早い避難」の実行を強化します。

コレカラノ
ミライ

災害時、避難所の入り口でマイナンバーカードをかざし安否確認。被災者台帳の作成がスムーズに行えるため行政負担の軽減に。また、生活再建に必要な手続きも個々人がオンライン上でスムーズに申請。

防災意識の自己評価

自宅で防災対策をしていますか？



※Job総研2021年防災意識調査より

◆ 避難時の暮らしと健康を守るために

災害時の避難生活において、健康維持のために必要な医療サービスや物資の提供など、外部とのコミュニケーションツールに。また「一秒でも早い復興」を目指し、産業支援も行います。

コレカラノ
ミライ

住民一人ひとりが直接交流できるWEBサイトを自治体ごとに開設。交流が少ない今だからこそ、いざという時に迅速な支援ができる体制を構築。

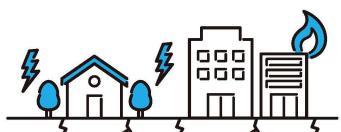


◆ 安心・強固なデータ環境の整備

災害時にデジタルのシステムそのものが打撃を受けないよう、クラウドやバックアップなどでデータを二重三重に保護、分散。有事の際でも安全・強固なアクセス体制を整えます。

コレカラノ
ミライ

データを別地方の複数サーバーにも保管しておくことで、首都直下型地震が発生しても、システムが常に稼働する環境を整備。



生活をより豊かにするために

誰もが自分らしく暮らしやすい社会へ。
個性に応じた暮らし方、ライフスタイルをアシストします。



◆ リモートワークで柔軟なライフスタイルを

リモートワークはソーシャルディスタンスに有効なだけでなく、時間や場所を柔軟に活用できる新しい働き方。育児や介護、治療との両立や地方との二拠点生活など、多様なライフスタイルを選択することができます。

コレカラノ
ミライ

週数回のリモートワークで、仕事を続けながら遠くに住む両親の介護を行いやすい環境を整備。介護による早期退職を防ぐ。



◆ スマートデバイスで便利で快適な居住空間

スマートスピーカーなどスマートデバイスの普及とネットワーク回線の進化により、家電の遠隔操作など便利で快適な生活が可能に。機器とサービスの融合が進むとともに、電力使用量を可視化し、電力の最適化を実現します。

スマートデバイス：インターネットに接続することで新たなサービスを受けられる機器のこと。

コレカラノ
ミライ

スマートフォンから自宅のエアコンをつけて、帰宅時には涼しい環境に。消費電力もスマートフォンで確認して、電気代のムダ遣いを削減。



◆ 障がい者の方をアシスト&使い方もフォロー

様々なハンディキャップをお持ちの方々に応じたデジタルサービスを各分野に導入。暮らしやすさをアシストします。またICT製品やサービスなどを健常者と同レベルで使えるよう、情報や機器へのバリアフリー対策も行います。

コレカラノ
ミライ

主なアクセシビリティ機能としては、「画面の表示内容読み上げ」「展示ディスプレイへの接続」「イヤホンの補聴器機能」「音声入力機能」などデバイスごとに様々な工夫が施され進化中。



デジタル分野における小倉まさのぶの実績

（一例）

"デジタル社会のパスポート"マイナンバーカードの普及、
安全・安心な利用を推進しています。

◆ 総務大臣政務官として マイナンバーカードの交付率を拡大

私が総務大臣政務官だった2017年、マイナンバーカードの交付率は約9%でした。そこで私は、マイナポイントを活用した消費喚起策事業や定額給付金のオンライン申請といった仕掛けを行い、また交付センターも作りました。その結果、現在では、約38%にまでカードの普及が進んでいます。



自民党マイナンバー小委員長として マイナンバーをより便利にリード

マイナンバーカードを使うことで引っ越しの行政手続きが大幅に簡素化します。本年10月にはマイナンバーカードと健康保険証の一体的運用もスタートします。また、令和6年度には運転免許証と一体化されることが決まりました。あらゆる場面でマイナンバーカードの活用機会が広がると同時にマイナンバーカードの使い勝手の悪さを改善することで利便性も大きく向上します。

手続き不要！

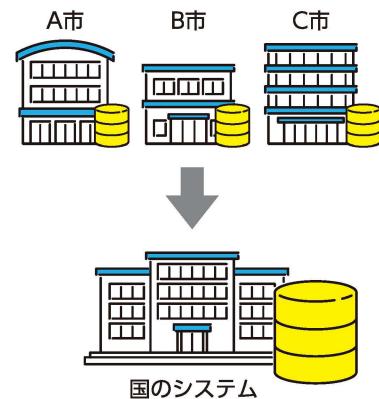
×転出転入手続き ×住所変更手続き

一本化！

健康保険証 + 運転免許証

◆ 地方公共団体のシステムを統合

これまで、自治体ごとに個別の情報管理システムを開発し使用していましたが、それらを令和7年度までに国のシステムに統合し、標準化する法案が成立しました。これは、私が総務大臣政務官の時に立ち上げた「スマート自治体勉強会」での議論がベースとなっています。これにより、年間5,000億円とも言われる自治体のシステム関連予算を3割削減できるだけでなく、同じシステムを使うことで、利用者の利便性向上や現場の事務負担も軽減されます。



◆ 地方税の納付書にQRコードを付すことを決定。 行員の手間を省き約600億円のコスト削減を達成

固定資産税や自動車税などの納付書は、手作業で仕分けした後、事務処理を行なっていました。この度、納付書にQRコードを付すことになり、銀行員の手間を大幅削減するだけでなく、銀行全体で約600億円もの経費削減に貢献しました。また、特定の金融機関以外でも納付できるようになるため、手続きも簡単になります。小さなことに見えますが、デジタル化に向けての大きな一歩です。



子どもにもっと「外遊び」を！

デジタル化を進める一方で、外遊び機会の確保を提案しています。

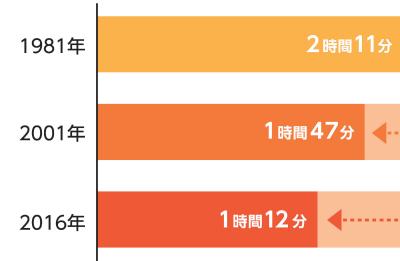
子どもの外遊び時間は35年間で3割減少、昨年はコロナ禍で前年比4割減、安全意識から校庭や公園はますます利用し難くなるなど、その機会がどんどん失われています。しかしあわが国には外遊びを意識した施策はほぼ存在しません。

そこで、

- 1 外遊びの空間の整備
- 2 外遊びを指導・サポートする人材の育成・確保
- 3 子どもおよび子どもを取り巻く大人の意識改革

の主に3つを提案。国・自治体の方々とも協力し法律、施策、ガイドラインを策定すべきと内閣官房長官に提案し、前向きな発言を頂戴しました。外遊びは子ども達の健全な成長に不可欠。デジタル推進と並ぶ一つの軸として提案を続けていきます。

子どもの1日の 35年間で30%以上減少
外遊び時間



※外遊びを推進する会HPより



小倉まさのぶの新型コロナ対策4本柱

新型コロナを克服し、未来に明るい希望を！

この1年半の間、コロナ禍との戦いの中で多くの皆様に様々なご負担や我慢を強いてしまったことをお詫び申し上げるとともに、お亡くなりになられた方の御冥福をお祈り申し上げまた、御遺族の方々に心よりお悔やみ申し上げます。

わが国のワクチン接種率は61%*に達し、世界で最も接種率の高いグループとなっています。医療関係者や自治体関係者等のご努力に心から感謝を申し上げます。その結果、東京の感染者数はピークの約66分の1*となり、日常生活への復帰も見えてきました。

他方で、本格的な冬が到来して万が一変異株が蔓延しても国民の命と安全と暮らしを守らなければなりません。小倉まさのぶは、これまでのコロナ対策の教訓と反省を踏まえ、岸田新政権の下で以下の政策を実現してまいります。



町田市の地域外来・PCR検査センターを視察



新型コロナ一時療養ステーションで医師会長と意見交換

① ワクチン接種体制のさらなる円滑化

- 11月の早い段階に希望者全員への接種完了
- 抗体価の低下に備えて、3回目のワクチン接種を準備
- ワクチンパスポート等を活用してワクチン接種率向上を図ります

② 第六波に備え医療体制の抜本強化

- 野戦病院等の臨時施設の開設等にあたり
国主導の体制に
- 国公立病院をコロナ重点病院化できる体制整備
- 地域の開業医の先生方と一緒に連携し、発熱患者や
自宅療養者に適切なケアを確保

③ ①、②の政策を速やかに実施できるための体制整備

- 公衆衛生上の危機発生時に、国・地方を束ねた
司令塔機能の強化
- 臨床医療、疫学調査、基礎研究を普段より
一体的に行う組織に改組

④ コロナで大きな影響を受けた事業者や家計への支援

- 地域や業種を限定しない、家賃支援給付金・
持続化給付金等の再支給を年内に決定
- 非正規・女性・子育て世帯・学生などのコロナで困難に
直面している方々への給付金再支給も年内に決定
- 最大の経済支援策である経済社会活動に早期に
道筋をつけられるよう、感染拡大防止と両立できる飲食、
旅行、スポーツ・コンサート観戦等のあり方を具体的に提示します

*2021年10月4日現在

プロフィール



衆議院議員 小倉まさのぶ 第52代 自民党青年局局長

1981年5月30日 多摩市生まれ町田市在住。2012年、第46回衆議院選挙に自民党の公認を受け出馬、初当選。現在3期目。国内外で養った経済・金融分野の知見、データ処理分析能力を武器に日本経済を好循環させるべく尽力している。40歳。

1981年 5月30日	多摩市生まれ、町田市在住	2009年 7月	オックスフォード大学大学院 修了
2000年 3月	栄光学園高等学校 卒業	2012年12月	第46回総選挙にて初当選
2004年 3月	東京大学法学部 卒業	2017年 8月	総務大臣政務官 就任
2004年 4月	日本銀行 入行	2017年10月	第48回総選挙にて3期目当選

衆議院議員 小倉まさのぶ事務所

町田事務所 : 〒194-0013 東京都町田市原町田5-4-7 からかあさ101号 TEL : 042-710-1192
多摩事務所 : 〒206-0041 東京都多摩市愛宕4-9-22 池田ビル103号 TEL : 042-400-1751

日々の活動をブログで
ご報告しています。

